

1 生育状況

田植え後の天候も良好であったことから植傷みも少なく、活着は概ね良好である。
5月上旬植えでは、浅水管理に移行した圃場で分けつの発生がみられる。

表1 生育観測田(小松市白江町:5月17日調査時点)

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉齢(L)
本年	15.1	72	4.0
前年	16.2	69	3.3
参考:コシヒカリ ※ 南加賀地区の平均値	18.4	72	4.5

2 田植え後の水管理

(1)田植え4日後以降(活着後～)

- ・ 活着後は速やかに浅水管理(水深3cm程度)とし、初期分けつの発生を促す。
- ・ 田植え同時に除草剤を散布した場合は、除草剤の処理層が形成された後(散布7日後)から浅水管理を行う。
- ・ 5月中旬以降は地温が上がるため有機物の分解が進み、ガスが発生しやすくなることから、晴天時に田干しを実施し、土中のガスを抜くことで根の張りを促す。

活着後、深水管理を続けると、
なかなか分けつしない！
収量・品質に影響する！

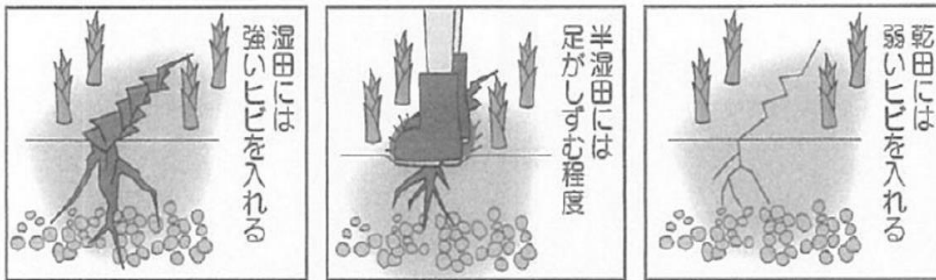
深水管理

- 茎数の不足
- 一穂粒数の増加
- 粒の成熟のばらつき大
- 刈り取り適期の判断が難
- 刈遅れによる穂発芽リスク大



(2) 田植え1か月後以降(幼穂形成期まで)

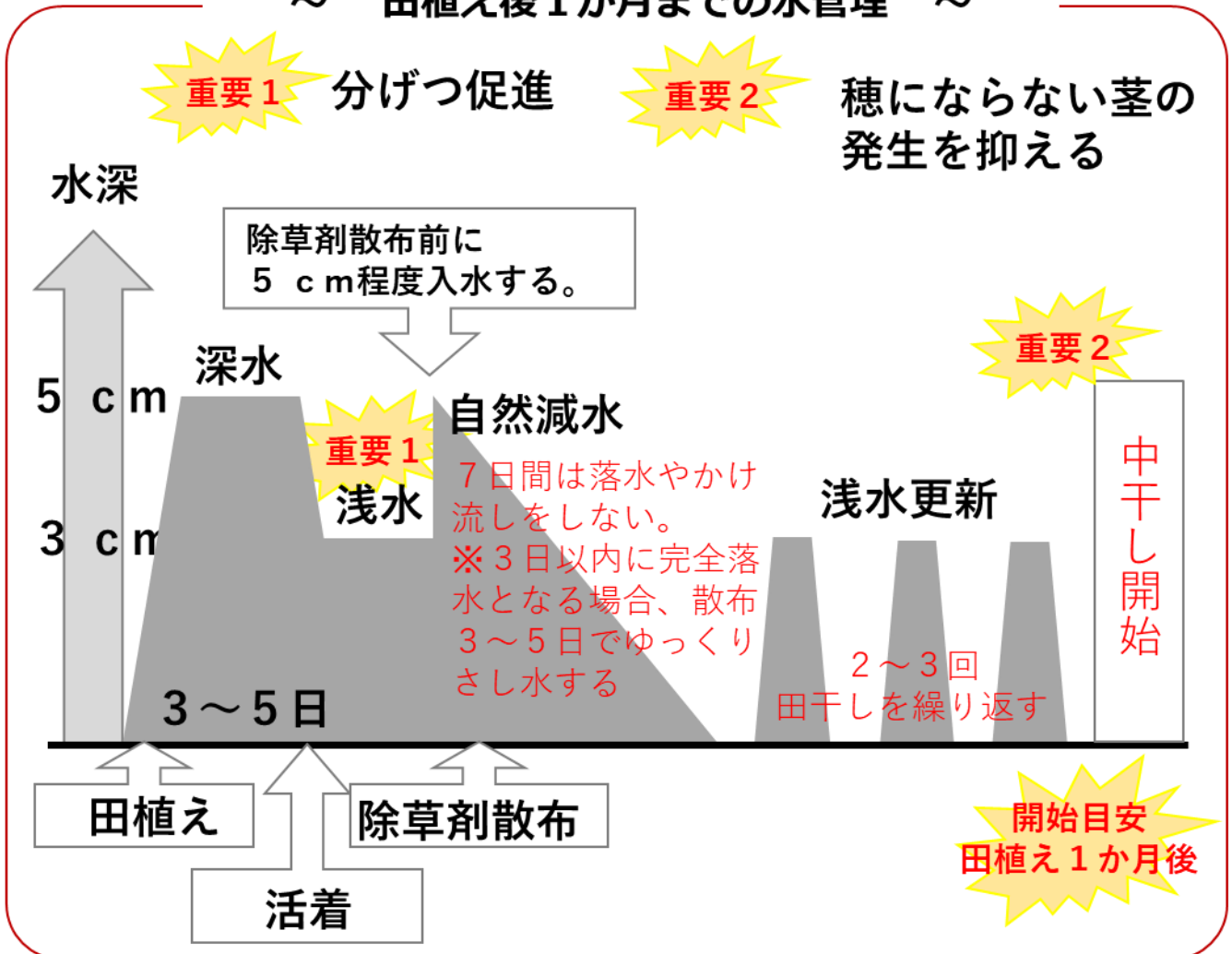
- 中干し開始までに田干しを2～3回行い、圃場内のガスを抜き、根張りを良くする。
- 中干しの開始時期は田植え1か月後(5月3日田植えの場合は6月3日から中干しを開始する)。



籾数の過剰は
品質低下に繋がる!



～ 田植え後1か月までの水管理 ～



問い合わせ先 J A O O (電話: 〇〇〇-〇〇〇〇)

南加賀農林総合事務所農業振興部 (電話: 0761-23-1703)

加賀農林総合事務所 (電話: 0761-72-8511)